

経営比較分析表（令和5年度決算）

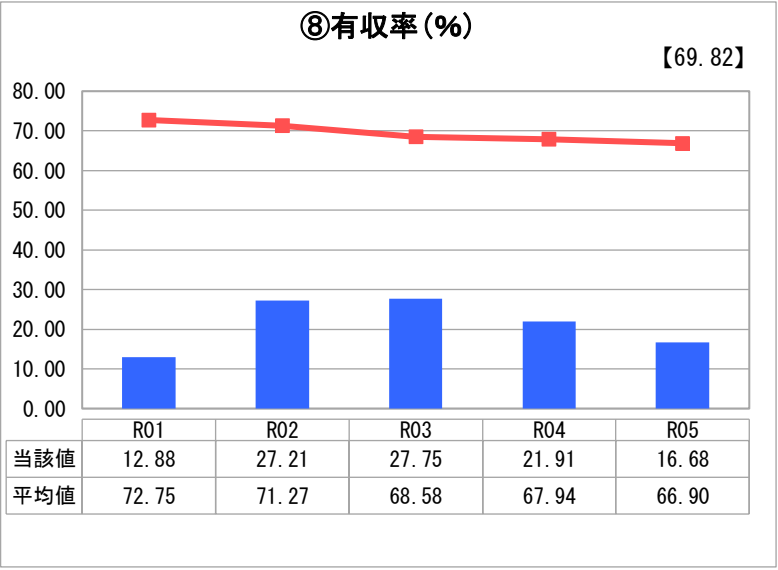
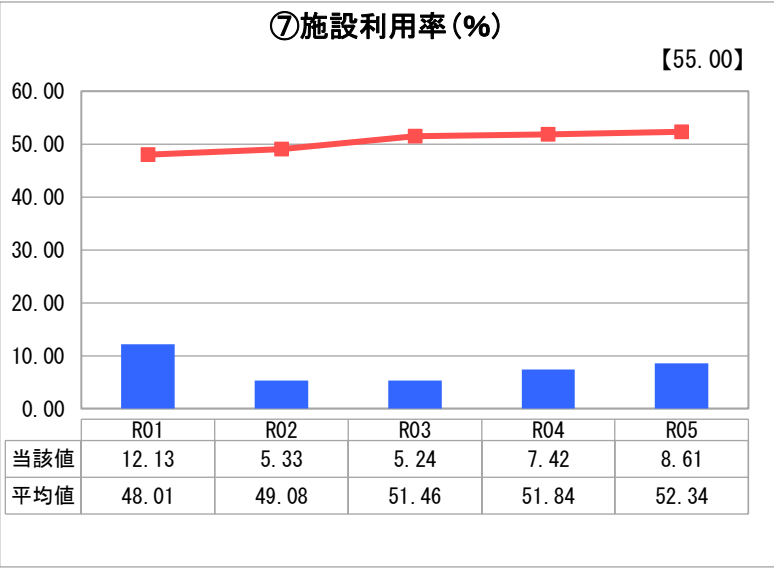
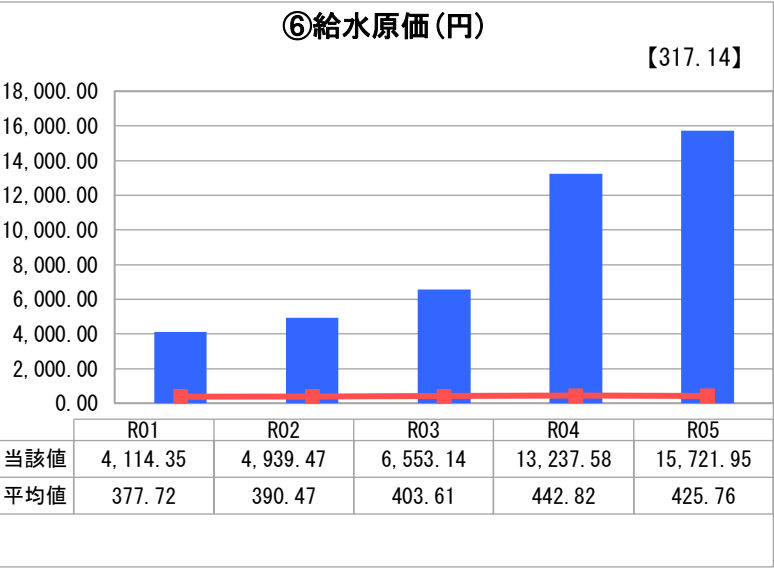
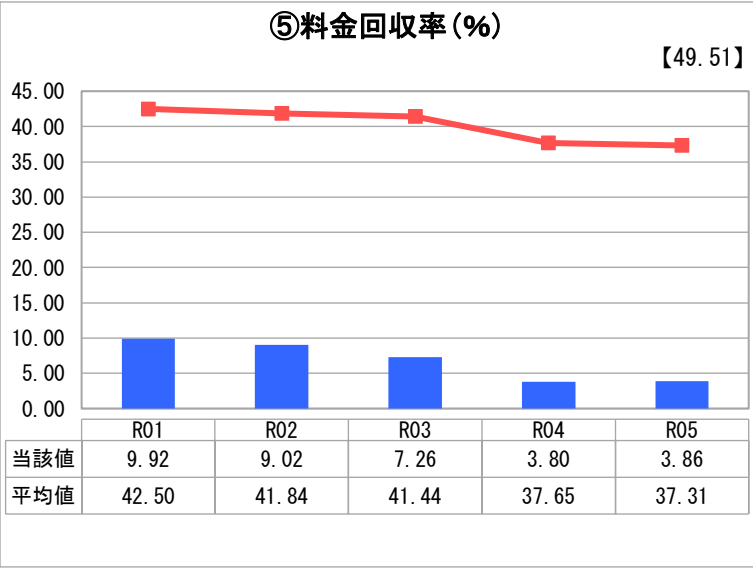
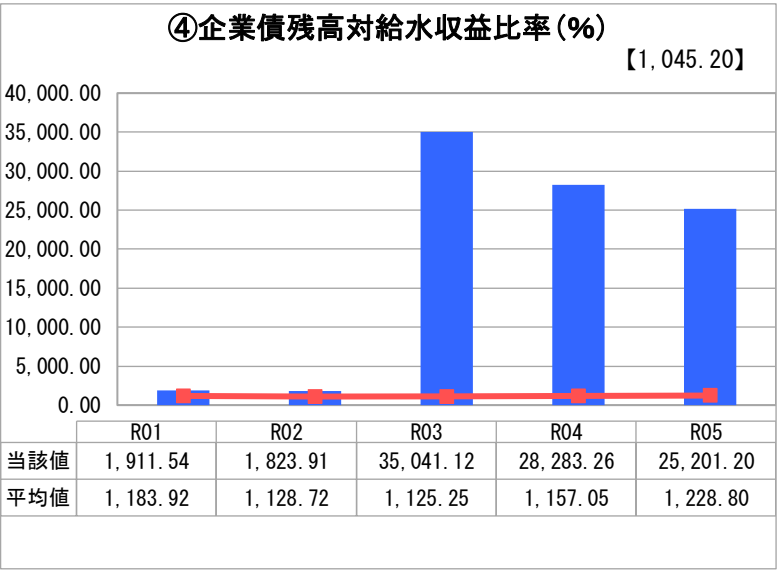
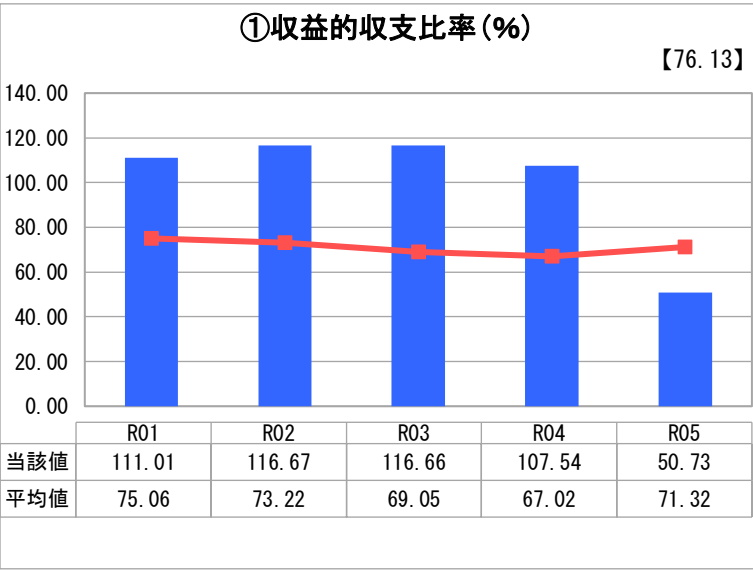
宮崎県 日南市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.00	3,531	

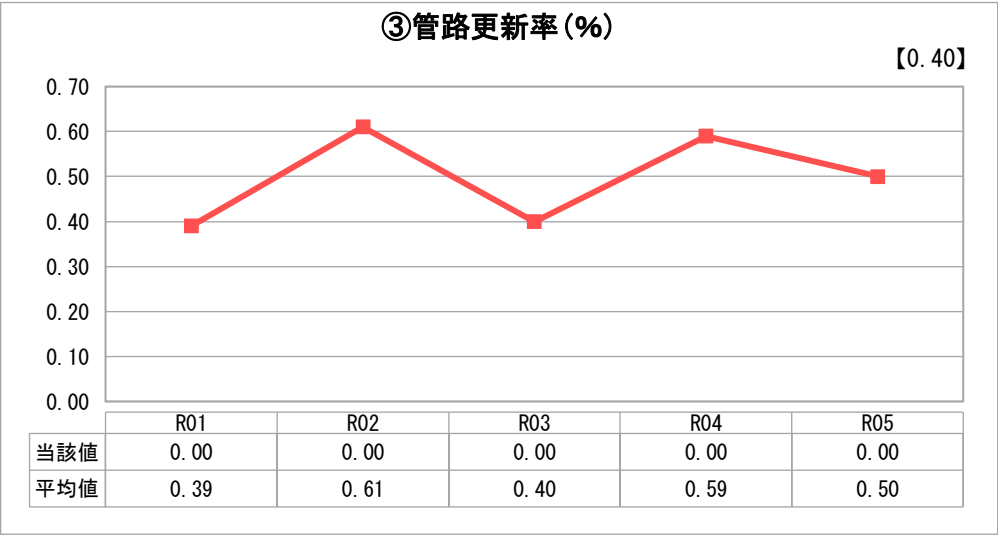
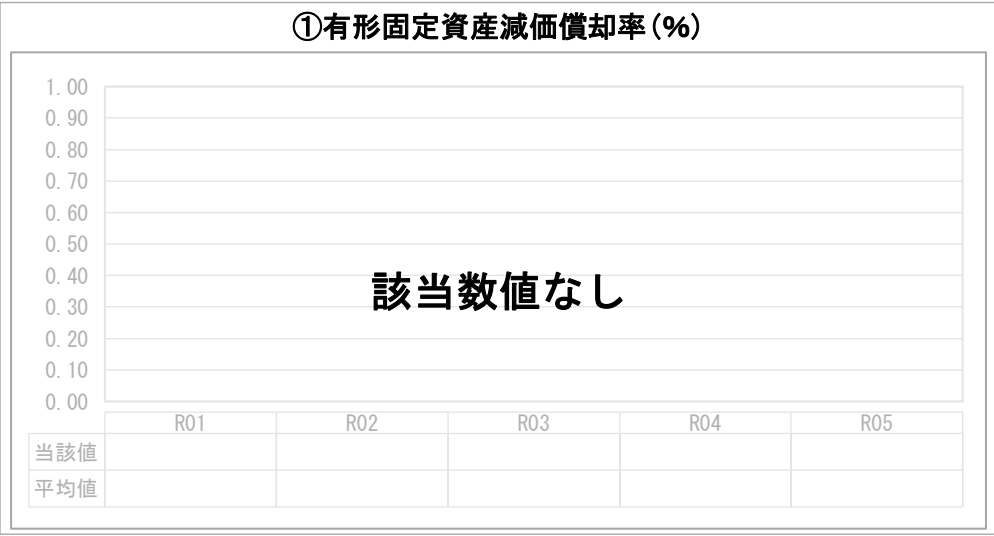
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,037	535.49	91.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
0	0.36	0.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の簡易水道事業は、「大島」以外、既に上水道事業と統合され、給水人口0人に対する収益は年間約24.9万円で、厳しい経営状況となっています。

①収益収支比率は約50.7%で、収益が極めて少なく、繰越金などその他財源に依存した経営です。

④企業債残高が6,275万円、その対比となる給水収益は約24.9万円となることから、④企業債残高対給水収益比率は約25,201.2%となっています。

⑤料金回収率3.86%は物価高騰、エネルギー価格上昇などの影響を受け、増加し続ける⑥給水原価によるもので、その給水原価は約15,722円です。

⑦施設利用率8.6%は、人口増加が見込めない離島であることから、低い水準が続くと予想されます。

⑧有収率16.7%は、施設容量に対し使用する給水量が少なく、施設内で滞留しないよう定期的な排水が必要となるためです。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率は0%です。平成29年度に「大島」以外の簡易水道事業を上水道事業へ経営統合して以降、管路の更新はありません。大島は、離島であり、管理を低減するために、市町合併後の平成27～29年度にかけて、地すべり及び漏水対策として管路をポリエチレン管【露出配管】に更新しています。

全体総括

日南市の簡易水道事業は、離島である「大島簡易水道」のみです。また、給水人口は0人、給水収益も年間約24.9万円とわずかであり、一般会計の繰入に依存した経営状況となっています。

なお、「大島簡易水道」については、令和7年度で廃止し、上水への統合、又は小規模飲料水供給施設等への移管を計画しています。